

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。

### 金子 大樹さん (赤石出身)・神奈川県横浜市在住 プロボクシング日本スーパーフェザー級チャンピオン

●衣笠小学校・田原中学校を卒業。中学校に入ったころからボクシングに興味を持ち、中学3年生になると、先輩の勧めで豊橋市にあるジムに通い始める。中学校を卒業後もアルバイトをしながらジムに通い、16歳で横浜光ジム(神奈川県横浜市)に入門。17歳でプロデビューした。

#### 【戦績】日本スーパーフェザー級タイトルマッチ

- ・平成24年5月5日＝8回TKO勝ち(チャンピオン奪取)
- ・同年9月1日＝2回KO勝ち(初防衛成功)
- ・同年12月1日＝6回TKO勝ち(2度目の防衛成功)

【プロ通算成績】22戦17勝(10KO)2敗3分 ※平成24年12月1日現在



#### 目標はもちろん世界チャンピオン

―ボクサーになるうとしたきつかけは？

【金子さん】先輩の勧めもありましたが、中学生の時、テレビに出ていたプロボクサーの畑山隆則選手や竹原慎二選手、薬師寺保栄選手を見て「自分もプロボクサーになりたい」と思いました。

―これまで7年間のボクシングをふりかえって

【金子さん】連敗した時はさすがに落ち込みましたし挫折も味わいましたね。でも気持ちだけは切れることはありませんでした。練習を重ねるたびに、今度こそという気持ちの方が強くなりました。今にしてみれば、あつという間の7年間でした。

―試合の時は、やはり緊張しますか？

【金子さん】入場するまでは、すごく緊張しています。よく緊張をほぐす方法を聞かれるんですよ(笑)。でも自分は持っていないです。ただ、日ごろの練習で自信をつけることが重要だと思っています。その自信が、試合での緊張を和らげてくれます。

―減量は大変だと聞きますが？

【金子さん】そうですね、減量は一番つらいです。試合前の体重制限をクリアすることが最初の難関です。この時期は、好きなだけ食べられないし、飲み物も制限されます。だから逆に、試合が終わった後は思いっきり食べて飲んでいきます。

―田原市にはどんなイメージを持っていますか？

【金子さん】16歳のころには、とても自然豊かなところだなと感じていました。毎年、数回帰省していますが、帰ってくるたびに少しずつ景色も変わり、徐々に街になっっている感じがします。でも、

声をかけてくれる皆さんの言葉は温かくて、人情味のあるところは変わっていないですね。

―これからの目標は？

【金子さん】もちろん世界チャンピオンです。今後の目標として、精神的・技術的にレベルアップし、世界の強豪と戦うための準備をしていきたいと思っています。順調にいけば、そのチャンスが春にはつかめそうです。とにかくテーマを持って日々の練習をやっていくだけです。

―田原市の皆さんへメッセージを

【金子さん】ボクシングは他のスポーツと比べても独特の世界であり、興味のない人はまったく観戦しないと思います。まずは、自分の戦っている姿を一人でも多くの方に見ていただき、自分を知ってほしいですね。

自分もまだ夢の途中ですが、特に子どもたちに伝えたいのは、何か一つ夢を見つけ、その夢に向かってあきらめず最後までやり遂げる強い心を常に持ち続けてほしいということです。



▲金子選手の試合の様子。平成24年12月1日、東京後楽園ホール(東京都文京区)で行われた試合では、長いリリーチをいかし、6回に連打の猛攻でTKO勝利を飾った